

点訳通信 第26号

盲人情報文化センター点字製作係

550 大阪市西区江戸堀 1-13-2

TEL 06-441-0015 FAX 06-441-0039

私 の 点 訳 ラ イ フ

杉山 真

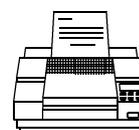
僕は、一昨年の春に講習会を終えたばかりの点訳2年生です。読み合わせ校正の最初のお相手は伊藤宏さんという男性でしたが、残念ながら一昨年末に急逝されました。読み合わせの際、僕のような若輩者が疑問点に次々こだわっても、気にせず一緒に一つ一つ確認して下さるような、気さくな方でした。今もたびたび思い出しては、お手柄を惜しんでいます。

その後、読み合わせのお相手には、Iさんという実力者に恵まれることができました。僕にとってはとてもありがたいことですが、点訳知識も、正確に読む能力もレベルが違いすぎて、パートナーをさせていただいていいのかなと心配です。そのうえ、昨年は身のほどしらずにも高校生の世界史副読本の点訳を引き受けてしまい、Iさんや2校のSさんに、多大なご迷惑をおかけしてしまいました。今年は点訳の基礎をもっと身に付けたいと考えて

います。とにかく、Iさんにしても他の点訳仲間や職員の方達にしても、すばらしい方ばかりなので、毎木曜日にCCBに通うのを楽しみにしています。

自宅での点訳ライフはお恥ずかしいものです。平日は、職業から開放されている朝晩に、たとえ30分でも時間を見つけては、好きな音楽をBGMに、パソコンに向かいます。休日は長時間を充てることにはなりますが、10時間以上を費やしたこともあります。そんなムラのある取り組み方をしています。

また、貧弱な我が家は、家電製品を多く使いすぎると停電することがあります。家人がドライヤーや暖房器具を重複使用してブレーカーが落ち、せっかく入力した点字データをパーにする事故がたまに生じます。思わず「何すんねん、コラー！」と叫ぶ心をこらえ、極力不機嫌な素振りを見せないようにし、“こまめに保存すべし”と肝に銘じています。（すぎやま まこと）



点訳Q&A

Q

「あああ〃〃・・・ア〃〃・・・いい・・・ア〃もうダメ、ダメ〃〃」
どういう点訳をすればいいのでしょうか。どうぞ、お知恵をお貸し下さい。(R)

A

「〃」「へ」「々」等、繰り返しの記号はそのまま点訳していいと思います。また、ひらがなとカタカナの区別はできません。

【例】「アアア◇アアア◇アアア◇・・・ア◇ア◇ア◇・・・◇イイ◇・・・ア◇ア◇
モー◇ダメ、ダメ◇ダメ◇ダメ」

また、最近の小説等によく見受けられる「ズルズルズルズルズル」というような2拍の語の繰り返しです。基本的には区切った方がいいと思います。

例1 「ズル◇ズル◇ズル◇ズル◇ズル」

例2 「バカ◇バカ◇バカ」

例3 「はい◇はい」(返事)

投 稿

大蔵さんより「所」という文字を含む名詞の「しょ」と「じょ」の読み方の目安をお教えいただきました。「所」以外にも、類似の言葉が多々あると思います。何か規則性が見つかりましたらこのコーナーへ投稿下さい。

「所」という文字を含む名詞について読み方の目安を考えてみました。

- ①上の語に濁音を含む時は「しょ」と読む
(例) 事務所、駐在所、裁判所、伝導所、碁会所
 - ②上の語がすべて清音で構成されている時は「じょ」と読む
(例) 保健所、教習所、鉄鋼所、観測所、測候所、停留所
- ※①②に当てはまらない例外もあります。
(例) 社務所、授産所

Q

情報化社会の今、少しでも情報としての価値がある間にデータをタイムリーに仕上げたいと思いながら点訳しています。

しかし、現実は一ヶ月で入力完成したデータの校正完了が数ヶ月後、或いは一年後という状況です。これでは情報としての価値が無くなってしまふ様で残念でなりません。視覚障害者は待つことになれているから……と言われますが、依頼本もデータが早く完成した方がいいと思うんです。

校正者のご都合もありませんでしょうけれども、個々に見合った校正日程を組むというのは無理でしょうか？

A

まことにご指摘の通りで、いつも心苦しく思っております。図書館の仕事は、求められた資料を必要な人に提供するのが当然のことですが、残念ながら現状は著しくかけ離れたものとなっております。毎月、利用者に提供できる点字図書の種類はせいぜい40～50タイトル。これでは利用者の要求を満たすにはとても十分な数量とはいえません。私たちはあらゆる面で改善を行かなければなりません。

さて、ご指摘の2校の件ですが、完成したあと、マスターの作成、墨点字の打ち出し、2校、修正、点字打出し、製本、受入、新刊案内での発表、の過程を経なければなりません。このうち点字製作が関わるのは製本までです。そこで、できるだけ早く利用者に渡すよう、下記の方法を試みております。

- (3) 高速の墨字プリンターの導入。
- (2) 校正者を増やし、構成能力をたかめる。
- (3) 音声装置などを導入して校正速度を速める。

せっかく、出来上がった図書も、2校に回すためには墨点字の打ち出しが必要です。今まで旧式のプリンターで打ち出していたため、時間がかかり、常に滞貨を来していました。そこで高速の両面プリンターを導入し、現在では、1校終了後、受け入日の次の日には2校に回す体制ができるようになりました。また、多くの方に2校に参加してもらい、2校の処理能力を増やすことが可能となりました。さらに、音声機器を導入し、点字データと原本の照合の負担を減らす実験にも取りかかりました。

これらのことを通じて、現在では比較的スムーズに処理が進むようになりましたが、それでも、1校が完了してから点字打ち出しまで、平均2ヶ月以上かかっております。ご指摘の通り時間がたつとともに情報の価値が減少するものもあり今後ともできるだけ早く利用者に提供できるよう研究してまいります。点訳された図書が現在どのような状況なのかパソコン上で確認ができますので、興味のある方は自由にご覧下さい。

なお、余談ですが、点訳に要する時間もパソコンで検索ができる「漢字読み方辞書」（現在20万件以上のデータ登録済み）を充実させ、下読みに費やす時間を少なくなるよう努めて参ります。

1 語中にアルファベットとカナを含む語の書き方について

当館から皆さんにお配りしている『点訳の手引き（第2版）の使い方』の中に、p26 3. 「処理」 「1語中の外国語引用符とカナの間は、第1つなぎ符をはさんで続けて書く」を削除する。

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

とあります。

これは、1語中の外国語引用符とカナの間の第1つなぎ符は、盲人情報文化センターとしては使用しない旨の規則です。今回この当館独自の規則を廃止することになりました。

したがって従来「⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠」とマスあけして書いていただいていた「1語中の外国語引用符とカナの間」は、「⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠」とつなぎ符をはさんで続けて書いていただくこととなります。

1語中のアルファベットとカナの間は、「⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠」「⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠」「⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠」のように、従来からつなぎ符をはさんで続けて書いていただいていたので、外国語引用符の場合も同じ扱いになり、『点訳の手引き』準拠になります。

なお、アルファベットや外国語引用符に助詞や助動詞が続く場合は、「1語中の」という記述には該当しませんのでマスあけをします。ご注意下さい。

下に『点訳のてびき』に掲載されている助詞及び助動詞の一覧を転記します。

【助詞】 か、が、から、くらい、けれど、こそ、さ、さえ、しか、すら、だけ、だに、たり、つつ、て、で、とも、ながら、など、なり、に、ぬ、の、ので、のに、のみ、は、ばかり、へ、ほど、まで、も、や、よ、より、を、等

【助動詞】 ごとし、させる、せる、そうだ、たい、だ（だった）、たり、です（でしょう）、なり、べし（べき）、ます、みたい、ようだ、らしい、られる、れる、等



「初出誌（一覧）」について

原本の最後に、その作品が最初に掲載された新聞や雑誌の名前が「初出誌（一覧）」として書かれていることがよくあります。

これまでこの「初出誌（一覧）」は省略することにしていたのですが、点訳書でもあった方がいいということになり、点訳していただくことになりました。

書き方と書く場所ですが、

1. 「本作品は、『〇〇新聞』何年何月何日号から何年何月何日号まで掲載されたものです。」といった程度の簡単なものであれば、最終巻の「全巻終わり」の下に1行あけて書いて下さい。

そこに書くスペースがない場合は、「奥付」の終わりを示す中央12マス棒線の下に1行あけて書いていただいても結構です。

2. 短篇集や論文集などで、それぞれの作品について初出誌がかかっている場合は、最終巻の「奥付」の前に「初出誌一覧」のためのページを新たにもうけて書いて下さい。

なお、その場合でも「目次」に書いていただく必要はありません。

以上、ご不明な点は職員か各曜日のスーパーバイザーにお尋ね下さい。

データのバックアップの取り方

－ B E Sをお使いの方へ －

『IBM点字編集システム ユーザーズ・ガイド』の「2-22」の説明に

●点字編集画面の操作は「新規作成」の場合とまったく同様です。

終了方法（Shift+F12）も同様です。

ただし、点字編集画面でまったく修正を加えずに Shift+F12 を押すと、
保管確認のメッセージは表示されずに初期メニューに戻ります。

に表記されているとおり、1枚目を保管したあと、2枚目、3枚目を保管しようとしてもなにも保管されず、点字編集画面（F12 を押した場合）や初期メニュー画面（Shift+F12 を押した場合）に戻ります。

これをさけるために、データに手を加える（例えば「⋮」を記入し、そして消去する）から保管すると大丈夫です。BEからBESに移られた方は特に注意して下さい。

「医療関係の用語」のマスキについて検討してみたいと思います。そこで「私はこれで迷いました」（小指じゃありません）という方や、「切るべきか、切らざるべきか、それが問題だ」と悩んでいらっしゃる方は用語例をお寄せ下さい。「Q&A」などの質問と同じように3階の“ピンクの箱”に入れて下さい。

「BASE」のバージョンアップ

BASEがバージョンアップされ、1.60Aとして公開されました。従来の正式公開版は1.59Bからバージョンアップされた内容を紹介します。

1.59B以来、1.59C、1.59D……1.60、1.60Aと26回に渡って改良が加えられ、テストが重ねられてきました。26回の改良といっても、その中には不具合の修正であったり、点訳にあたってはあまり関係のないものもありますので、皆さんに関係ある機能の追加や強化点を、バージョンアップの順に沿って記します。さらに詳しい事をお知りになりたい方は、BASE付属のドキュメントファイルをお読みください。

(1) 「短文登録ファイル」を自由に選択できるように。

短文登録機能をお使いの方で、平行して2冊以上の本を点訳されている方にとってはたいへん便利な機能です。

原本によって短文登録したい頻発語は異なりますから、本に合わせた登録ファイルを作るわけですが、今までは登録ファイルの入ったフロッピーディスクを入れ替えるなどしなければなりませんでした。今回のバージョンからは複数の登録ファイルを切り替えて使えるようになりました。

[CTRL]キーを押しながら[TAB]キーを押してドライブを選択し、[ESC]キーでファイル名を選べます。

(2) 頁単位の削除。

何ページにもわたって削除したい場合、「行削除」を反復するか、「高速行削除」をしていましたが、今回ページ単位の削除ができるようになり真した。

[ESC]キーを押してから「C」を入力します。後は「開始ページ」「終了ページ」の入力でOKです。

(3) 置換の開始位置をカーソル位置からに変更。

置換をする場合、開始位置が文頭でしたが、その開始位置が現在カーソルのある位置となりました。文頭から一括置換をしたい場合は、まずカーソルを文頭に移動させてから行ってください。

- (4) ページを移動した時、移動先ページを音声出力。

音声装置をご利用の方、ページ移動をすると移動先ページ数をまず音声で知らせてくれるようになりました。

- (5) 2級点字使用時、フルスペル表示追加。

英文を2級点字を使って入力している時、そのフルスペルでの表示ができるようになりました。ただこの機能はまだ完璧なものではなく、今後さらに改良がなされるでしょう。

- (6) 「ヴュ、ヴォ」など特殊音の表示追加。

- (7) 左寄せ、右寄せ、センタリング機能。

「左寄せ」はあまり使う必要はないでしょうが、「センタリング」と「右寄せ」を便利に使ってください。

[GRPH(A1t)]キーを押しながら「L」キー又は「<」で左寄せ、[GRPH(A1t)]キーを押しながら「C」キー又は「/」でセンタリング、[GRPH(A1t)]キーを押しながら「R」キー又は「>」で右寄せです。

カーソルは文字列の直後あるいは文字列中のどこにあってもかまいません。操作後カーソルは次行の先頭に移動します。文字列が奇数の場合のセンタリングでは、行頭側のスペースが、行末側のスペースより一つ少なくなります。これは当館の規則に一致しています。

行の中央や行末いっぱい文字列を書きたい場合、マス数を数える必要がなくなります。

- (8) 外部BASEファイルの検索。

「これ、前の巻では続けたかな？」と気になることはありませんか？ 今までは、それを確かめようと思えば、入力中のファイルをセーブして、前の巻を呼び出し、検索でその語を探してみなければなりませんでした。今回のバージョン

からは、現在入力中のファイルをセーブすることなく、編集以外データファイルを検索することができるようになりました。

「F 6」で「検索モード」に入り、検索文字を入力、[リターン]キーで決定します。その次に[GRPH(A1t)]キーを押しながら「S」キーを押すとドライブ選択画面になります。そこでドライブを選択し、[リターン]キーを押すとファイル一覧画面になります。検索したいファイルにカーソルをあわせ[SPACE]キーを押すとそのファイルにマークがつきます。そのマークのついたものが検索対象となるファイルです。すべてのファイルにマークをつけたい場合は、[HOME CLR]キーを押してください。

検索結果が画面に表示されている時、「グラフキー」を押しながら「@ (アットマーク)」を入力すると、検索結果をBASEファイルとして書き出すこともできます。

又、別の使い方としては、分ち書きの辞書をBASEファイルとして作っておき、分ち書きに迷ったらそれを参照するというのも、語例が多くなるほど有効ではないでしょうか。

- (9) チェック機能に句点の後3マス以上を追加。

[SHIFT]キーを押しながら「Z」キーを押すチェック内容の追加です。

- (10) 感嘆符の後のスペースを2に。

感嘆符の後のマスあけが2に固定されていませんでしたので、修正などで行が動くと、感嘆符の後の1マスになってしまうということがおこっていました。その点の改良です。

ただ、希に1マスにしておきたいところまで2マスあけになってしまうかもしれませんので、ご注意ください。

このほかに、「辞書検索機能」が追加されています。これについては、別に説明します。

辞書検索機能

今回の公開版から、BASEで入力中に辞書検索ができるようになりました。この機能について、使い方と、辞書の構成校正に分けて紹介します。

(1) 辞書の使い方

使える辞書は2種類です。一つは「NOTE. DIC」いうもので、これはファイル名固定の辞書です。もう一つは「MEMO. DIC」いう辞書ですが、これはファイル名を変更することができます。

この機能を充分使うためには、日本語変換システム（例えばATOKなど）が組み込まれている必要がありますが、それが組み込まれていなくても一応利用できます。

1. マスアケ辞書の選択

[GRPH(Alt)]キーを押しながら「N」キーを入力すると「NOTE. DIC」が、[GRPH(Alt)]キーを押しながら「M」キーを入力すると「MEMO. DIC」が、[GRPH(Alt)]キーを押しながら「B」キーを入力すると両方の辞書が選択されます。2つの辞書を同時に利用する場合、「MEMO. DIC」が最初に、続いて「NOTE. DIC」が検索対象となります。

2. 検索

使用辞書を選択したら、次に検索です。その方法が二つあります。

2-1 入力画面での検索

すでに点字入力してあり、画面に表示されている文字列（点字でもカナでも可）を検索したい場合は、検索したい文字列の先頭の文字にカーソルを合わせ、[GRPH(Alt)]キーを押しながら

「F」キーを押します。カーソルのある位置から次のマスあけの部分までの文字列を検索します。この場合、マスあけを含む文字列の検索はできません。

2-2 検索モードでの検索

検索したい文字列をこれから入力する場合は、[GRPH(Alt)]キーを押しながら「Z」キーを押します。そして、検索したい文字列を入力して[リターン]キーを押せば検索が開始されますが、この検索文字列の入力の仕方に、さらに3つの方法があります。

2-2-A 漢字で検索

この機能を利用するためには日本語変換システム（ATOKなど）が必要です。また、漢字での登録数が少なく現状ではあまり利用できません。利用方法は、まず、日本語変換モードに入り、検索したい文字列を入力します。この場合、文字列に点字式の空白を入れてはいけません。

2-2-B 全角ひらがなでの検索

この時も、日本語変換システム（ATOKなど）が必要です。まず、日本語変換モードに入り、検索したい文字列をひらがなで入力します。この場合注意しなければならないのは、点字と同じ仮名遣いと分かち書きが必要だということです。助詞の「はへ」は、「わえ」と、長音の「う」は「長音」として入力しなければなりません。

2-2-C 半角カタカナで検索

日本語変換システムが組み込まれていない場合は、この方法しかありません。「カナ」キーをオンにして、カタカナで検索したい文字列を入力します。この場合はマスあけせず、国語表記どおりに入力します。又、数字を含む語の場合、数字の部分はその読み方をカナで入力して下さい。例えば、「33ゲントウ」と数字で書くかカナで書くか迷って検索したい場合には、「サジュウサンゲントウ」と半角カタカナで入力します。長音としてハイフン記号は使えません。

以上3つの何れかの方法で入力した後、「リターンキー」を押せば検索が始まり、該当する記述が辞書にあれば画面に表示されます。

◆編集モードに戻るには[ESC] キーを押します。

◆表示は、検索文字列を含む行をすべて行います。

◆表示結果が非常に多いと思われる場合には、検索文字列の最初に半角又は全角の「* (アスタリスク)」をつけると、効率よく検索されます。

◆検索結果が多くて1画面におさまらない場合には、「MORE」と表示されますので、[リターン]キーを押すと次の1画面分が表示されます。

◆検索文字として半角のシャープ記号を指定すると、数字関連の例を表示します。

◆検索文字列がなかった場合、〈辞書に登録しますか〉の表示が出、「Y」キーで1行編集が可能になります。これで辞書をどんどん成長させて下さい。

◆「MEMO. DIC」というファイル名を変更したい場合は、[GRPH(Alt)]キーを押しながら[HELP]キーを押し、次に「F 1」を押して下さい。変更ができます。

(2) 辞書の構成について

辞書は、次のような約束のもとに作られています。辞書を拡張したり、変更したりする際の参考にして下さい。

1. 行頭の「# (シャープ)」はコメント行として扱い、検索対象とはならない。
2. 行頭に「* (アスタリスク)」があると、検索対象とはなるが表示しない。
3. 行頭に「+ (プラス)」のある行の文字列は、検索対象となる。
4. 行頭に「+, (プラス、コンマ)」の行は、文法項目やタイトルを検索された時のみ表示され、その行自体は検索対象とはならない。
5. 行頭がスペース又は漢字の場合、その行は検索対象となる。又「シャープ」「プラスコンマ」以外の半角文字ではじまる行も検索対象となる。
6. アルファベットはすべて半角大文字を用いること。
7. 検索された文字列の直後に半角コロンがあると、その行は表示されない。
8. 文中に半角のスラッシュがあると、以後行末までの半角文字を表示する。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

より詳しいことをお知りになりたい場合は、BASEに付属の「NOTE. DIC」をお読み下さい。

日本語変換システムを組み込んであれば、分かち書きや仮名遣いを調べるためだけではなく、読み方を調べるための辞書を作ることでもあります。思いつかれた便利な使い方、ユニークな利用法などありましたら、ぜひ教えてください。

又、「こんなに語例が豊富になった」「こんな種類の辞書も作ってみた」など提供していただければ、検討のうえ皆さんに使っていただけるようにしたいと思っています。今後とも辞書の内容を豊富にしてゆきたいと思っておりますのどご協力のほどよろしく申し上げます。

下調べ辞書 追加データ ニュース —操作方は簡単です、ぜひ使って下さい— 登録件数（一般 17万件 人名4.5万件）

長谷寺は「ハセデラ」か？

長谷寺といえば、関西にお住まいの方は、牡丹で有名な「ハセデラ」を思い浮かべるでしょう。しかし、果たして「長谷寺」はいつも「ハセデラ」と読んでいいものなのでしょうか。辞書で調べますと、「ハセデラ」と読ませているのは、

長谷寺 ハセデラ

[所在] 北海道上川郡風連町／群馬県群馬郡榛名町／東京都港区／神奈川県鎌倉市／神奈川県厚木市／山梨県中巨摩郡八田村／三重県津市／大阪府堺市／兵庫県城崎郡香住町／奈良県桜井市／福岡県鞍手郡鞍手町／熊本県熊本市

です、それ以外にも実は「チョウコクジ」と読む寺院が各地にあります。

長谷寺 チョウコクジ

[所在] 秋田県湯沢市／山形県山形市青柳／山形県山形市大字中野／山形県西村山郡河北町／福島県伊達郡保原町／茨城県岩井市／千葉県勝浦市／新潟県佐渡郡畑野町／山梨県東山梨郡春日居町／長野県長野市／長野県北安曇郡白馬村／静岡県熱海市／静岡県下田市／滋賀県高島郡高島町／徳島県鳴門市／高知県香美郡夜須町

この例以外に、浅間神社は「センゲンジンジャ」か「アサマジンジャ」など、迷い始めるとキリがありません。といってその度に辞書を調べるのも大変。そこで、この辞書をご利用いただければたちどころに回答が得られます。全国の主な寺院が登録されていますのでご利用下さい。

主 題 登 録 項 目

◇地名・その他の固有名詞

郡名／市区町村名／字名／山岳名／河川名
／外国名／漢字で書かれた外国都市名／寺
院・仏閣名／駅名／酒の銘柄名（商品名）

◇人名

法律家／戦国人名／落語家／漫画家／相撲
／天皇／漢字で書かれた西洋人名／衆参議
員／閣僚／大使名

◇その他

元号名／年中行事／役職名（江戸時代）／
漢方医学用語／植物名／動物名／昆虫名／
鉱物名／四字熟語／馬術用語／競馬用語／
歴史用語／考古学用語／古墳・墳墓名／遺
跡名／暦／宗教用語／書名（日本の古典）
／古文書関係用語／落語の演題

◎登録辞書（登録中も含む）

- 『大辞林』
☆『漢字ハンドブック』
『市町村名変遷辞典』地名情報資料室
☆『郵便番号簿』郵政省
☆『古文書難語辞典』
☆『日本の古典名著総解説』赤塚忠ほか
☆『古典落語事典』永田義直
『30万人よみ方書き方辞典』日外アソシエツ
☆『人物ファイル'93』樺山紘一ほか
☆『戦国人名辞典』高松年一ほか
☆『知恵蔵'94』朝日新聞社
☆『日本史用語の基礎知識』武光誠
☆『大江戸おもしろ役人役職読本』
☆『日本考古学小辞典』江坂輝彌ほか
☆『古墳辞典』小林三郎
☆『日本軍隊用語集』寺田近雄
『20万語よみ方書き方辞典』日外アソシエツ
『法律用語辞典』内閣法制局
[☆印…登録済み 無印…登録中]

お 願 い

データ収集のお願い

「読み方調べ」のデータを集めています。新人歌手や、スポーツ選手、店の名前…e t c。漢字で書かれたものなら何でもかまいません。漢字、読みの2項目に、その漢字を説明するコメントがあれば結構です。特に辞書に載っていたいデータは大歓迎です。

さらに、ワープロで

- ①漢字 ②読み ③概説

の順で入力していただければなお結構です。皆さまから提供されたデータは整理して活用できるようにしてゆきます。

例えば 「大阪府議会だより」掲載されたお知らせの中に下記のようなものがありました。

ため池オアシス

地区名・所在地	最寄駅	問い合わせ先（代表電話番号）
いがいまいけ 伊賀今池（羽曳野市伊賀）	近鉄高鷲駅	羽曳野市産業振興課(0729-58-1111)
にいなさんいけ 新稲三池（箕面市新稲）	阪急箕面駅	箕面市下水道工務課(0727-23-2121)
……	……	……

「伊賀今池 いがいまいけ 羽曳野市伊賀」とワープロで入力していただければいい参考資料になります。[注] 入力されたデータは必ず校正して下さい。また入力の元となった資料は見せて下さい。

掲 示 板

・★★★☆☆ お譲り下さい!! ☆☆☆★★

点訳ボランティアと点訳グループそれぞれから、不要になった点字版を譲ってほしいとの希望が寄せられました。もし点字版をお持ちの方は木村までご連絡下さい。

・教科書や、自然科学に関する図書などによく掲載されている、図形の原板が多数できています。理科系の図書を点訳されている方はぜひ活用して下さい。

→ 問い合わせは、木村・前田まで。

・点訳ソフトBASEが新しくなりました。マスアケ辞書も搭載され大変便利なものです。BASEをお使いの方は、来館された折りに木村までおたずね下さい。新しいソフトをお渡しいたします。

・新しいBASEにマスアケ辞書が付いています。点訳中に簡単に引けて大変便利です。この便利な機能を今後充実させてゆきたいと思っています。自分で辞書登録することができますのである程度まとまった時点で登録リストを見せていただければ、それを集約し、基本辞書に反映させてゆきます。また、登録方法の判らない方は、紙にメモっていただいても結構です。登録語数を増やし、「迷ったときはこの辞書で…」という風に役立つものへと変身させてゆきたいと思っていますのでご協力のほどよろしく!!!

・95年度、てんやく広場へ470タイトル、112,843バイトのデータを登録することができました。これは2位の290タイトル、45,568バイトを大きく引き離し、ダントツです。ご協力いただきました、ボランティアの皆さま、グループの皆さま本当にありがとうございました。今年もできるだけ多くのデータを提供できるよう努力してゆきたいと思っております。今後ともご協力のほどよろしく願いいたします。

・資源ゴミの分別収集のお願い

図書館の性質上、紙を大量に使用します。資源保護の上にも使用済みの用紙の回収のご協力をお願いします。使用済みの用紙は中央にある校正用机の下に回収用の段ボール箱にお返し下さい。なお、輪ゴムや、その他紙でないものはあらかじめおいて下さい、また、紙であっても、表がつるつるした、宣伝用の紙などは回収の対象になりません。せつかくの行為が無駄にならないよう分別収集にご協力をお願いします。

・コーヒー、紅茶をどうぞ

コーヒー、紅茶、緑茶などを用意しています。セルフサービスでご利用下さい。

ポットのお湯が少なくなったことに気がついた方は、水を足して下さい。大変厚かましいのですが、朝一番に来られた方がポットの水を入れ替えて電源を繋いで下さればありがたいです。その他、何かお気づきの点がありましたら遠慮なく申し出下さい。